中小企業景気動向調査

（2026年4～6月調査）

きんしん
景況レポート
vol.192
（2026年7月15日発行）

目次

全業種業況概要（業況～設備の状況） …… 1
業種別業況の推移 …… 4
　製造業／卸売業／小売業 …… 4
　建設業／サービス業／不動産業 …… 5
特別調査「中小企業における価格転嫁について」 …… 6

●調査対象企業の業種別及び有効回答数

	企業数	構成比(%)	有効回答数	回答率(%)
製造業	48	32.4	30	62.5
卸売業	13	8.8	5	38.5
小売業	25	16.9	16	64.0
建設業	24	16.2	12	50.0
サービス業	25	16.9	8	32.0
不動産業	13	8.8	5	38.5
合計	148	100.0	76	51.4

●**調査方法**
この調査は中小企業を対象にWebアンケートを実施しご回答いただいたものです。

●**調査時点**
2026年6月初旬

●**調査対象時期**
2026年4月～6月実績及び
2026年7月～9月予想

分析方法　D.I（ディフュージョン・インデックス）

A=良い（増加・上昇・過剰）
B=ややA
C=普通（変わらず・適正）
D=ややE
E=悪い（減少・下降・不足）

$$D.I = A \cdot B - D \cdot E$$

この調査の中では傾向を見る方法の一つとしてD.Iを中心として分析したもので、D.IはDiffusion Index（拡張指数）の略です。
企業が景況判断・予想を5段階（A.B.C.D.E）で行います。不変部分（C）を除いて増加（AもしくはB）したとする企業が全体に占める構成比と減少（DもしくはE）したとする企業の構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトル（方向線）の傾向を見る方法です。

概況　業況・売上額・収益ともに改善

金沢信用金庫が行った中小企業76社の景気動向調査（調査回答先：金沢市中心の業務区域内148社・回答率51.4％）の概況は次のとおり。

今期の全産業ベースの業況判断DI（「良い」・「やや良い」－「悪い」・「やや悪い」の構成比、以下同じ）は▲9.2（前期▲14.0）と4.8ポイント改善。

業種別では、製造業が0.0（前期▲33.3）と33.3ポイント、不動産業が0.0（前期▲14.3）と14.3ポイント改善したが、卸売業が▲80.0（前期0.0）と▲80.0ポイント、サービス業が▲12.5（前期0.0）と▲12.5ポイント、建設業が▲8.3（前期▲5.6）と▲2.7ポイント、小売業が▲6.3（前期▲5.9）と▲0.4ポイント悪化した。全産業ベースでの来期予想DIは▲18.4と▲9.2ポイント悪化すると予想している。

また、全産業ベースの売上額判断DIは1.3（前期▲25.0）と26.3ポイント改善し、収益判断DIも▲9.2（前期▲19.8）と10.6ポイント改善した。来期予想では、売上額判断DIが▲9.2と▲10.5ポイント、収益判断DIも▲15.8と▲6.6ポイント悪化すると予想している。

今回の調査で経営上の問題点として最も多かった回答は「原材料高」（全回答中40.8％）で、以下、「売上の停滞・減少」（全回答中38.2％）、「人件費の増加」（全回答中31.6％）であった。また、当面の重点経営施策として最も多かった回答は「経費を節減する」（全回答中38.2％）で、以下、「人材を確保する」（全回答中35.5％）、「販路を広げる」（全回答中25.0％）という結果となった。

（注）2026年1～3月を前期、2026年4～6月を今期、2026年7～9月を来期という。以下同じ。

景況天気図

（この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。）

好調 ←  → 低調

時期 / 業種名	2024年（令和6年） 7月～9月	10月～12月	2025年（令和7年） 1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	2026年（令和8年） 1月～3月	4月～6月	見通し 2026年（令和8年） 7月～9月
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
建設業									
サービス業									
不動産業									

全業種

	2024年(令和6年)		2025年(令和7年)				2026年(令和8年)		見通し 2026年(令和8年)
	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月
業況	▲11.3	7.5	▲16.7	0.0	0.0	6.1	▲14.0	▲ 9.2	▲18.4
売上額	▲11.3	27.4	▲17.8	8.0	11.5	19.5	▲25.0	1.3	▲ 9.2
受注残	▲22.0	15.1	▲17.0	4.2	15.9	11.1	▲22.9	▲ 4.8	▲14.3
収益	▲13.4	15.1	▲24.7	▲11.2	▲ 3.5	16.0	▲19.8	▲ 9.2	▲15.8
販売価格	16.7	26.2	14.4	15.7	23.0	15.2	9.7	31.6	32.9
原材料価格	50.5	49.5	53.9	42.0	46.5	46.9	43.0	70.3	63.5
在庫	6.2	▲ 1.1	8.5	1.3	4.2	11.6	▲ 7.5	▲ 2.9	▲ 1.5
資金繰り	▲10.4	▲ 4.7	▲14.4	▲ 6.7	▲ 8.0	▲ 2.5	▲19.4	▲ 1.3	▲14.7
雇用(人手)	▲39.6	▲38.3	▲28.9	▲40.4	▲37.9	▲36.6	▲39.8	▲25.0	▲30.3
設備状況	▲17.8	▲17.2	▲20.0	▲14.6	▲14.6	▲11.8	▲11.6	▲12.7	▲12.7

設備投資動向

設備投資は、不動産業を除いた71社の動向です。

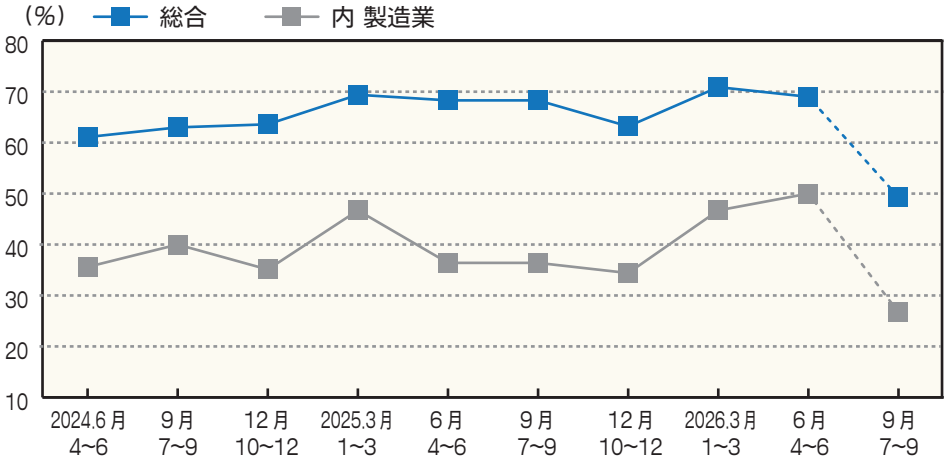
● 4~6月の設備投資実施状況

		有	無
総合	数	49	22
	%	69.0	31.0
(内 製造業)	数	15	15
	%	50.0	50.0

(来期見通し)

		有	無
総合	数	35	36
	%	49.3	50.7
(内 製造業)	数	8	22
	%	26.7	73.3

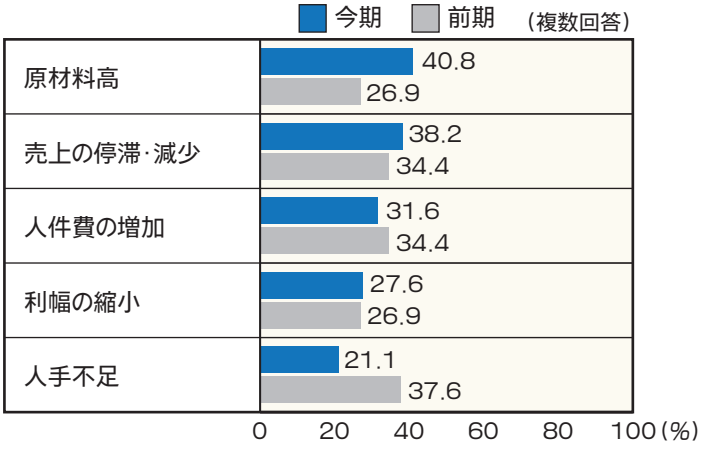
● 設備投資実施(予定)割合



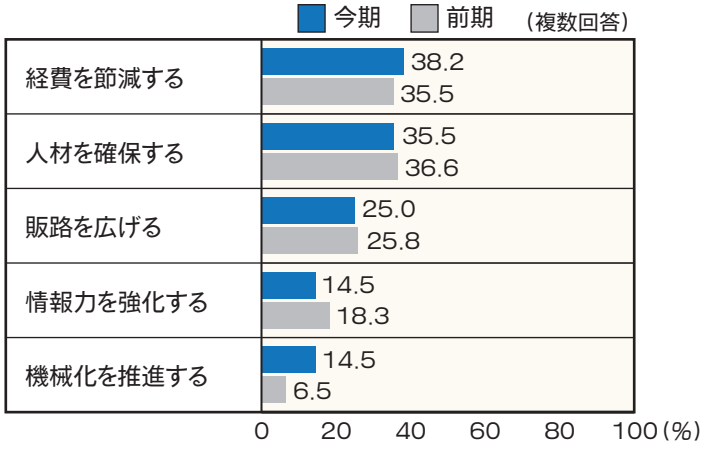
● 4~6月に実施した設備投資の内訳(複数回答)

		事業用土地·建物	機械·設備の新増設	機械·設備の更改	事務機器	車両	その他
総合	%	1.4	7.0	25.4	11.3	25.4	1.4
(内 製造業)	%	3.3	13.3	26.7	6.7	3.3	3.3

経営上の問題点



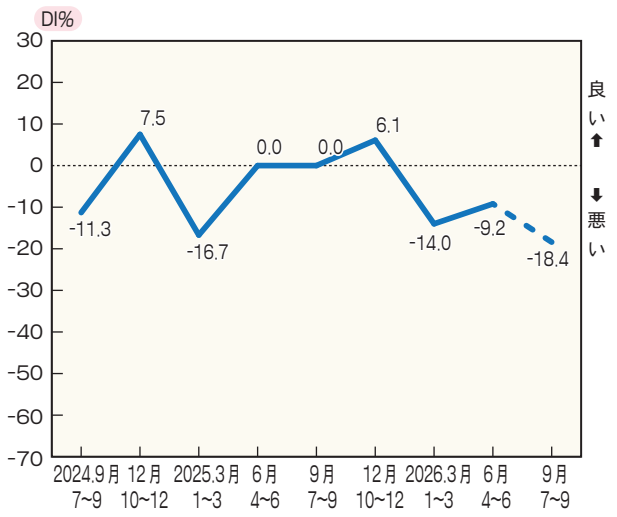
重点経営施策



全業種

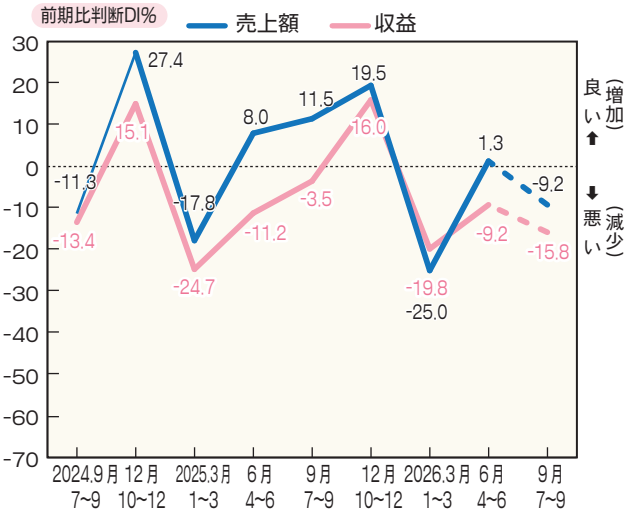
業　況

前期から4.8ポイント改善、
来期は悪化すると予想



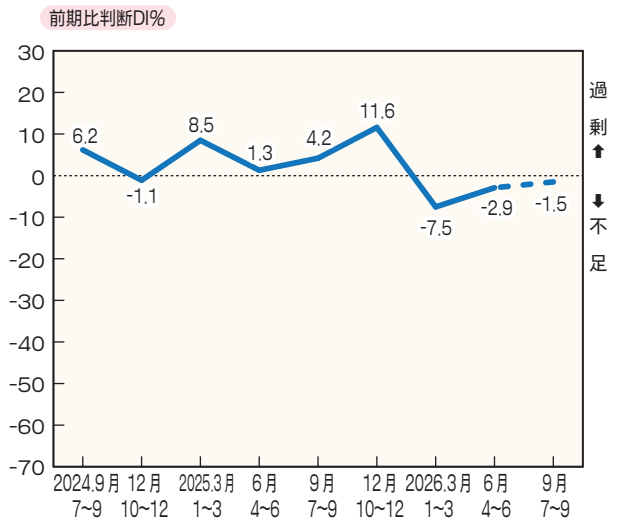
売上額・収益

売上額・収益ともに改善、
来期はともに悪化すると予想



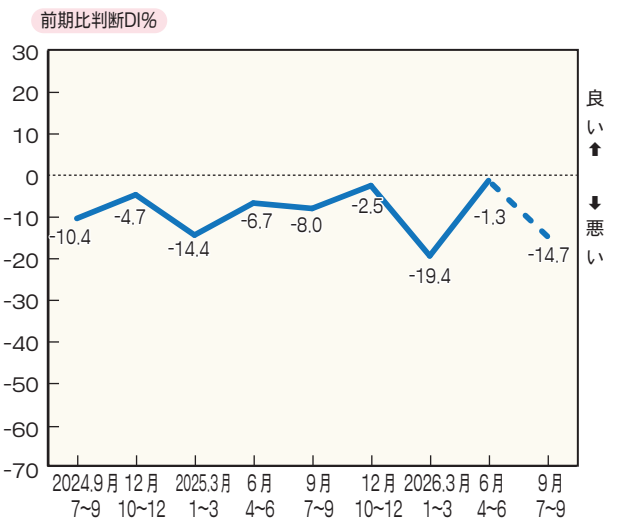
在　庫

今期▲2.9（前期▲7.5）と
改善



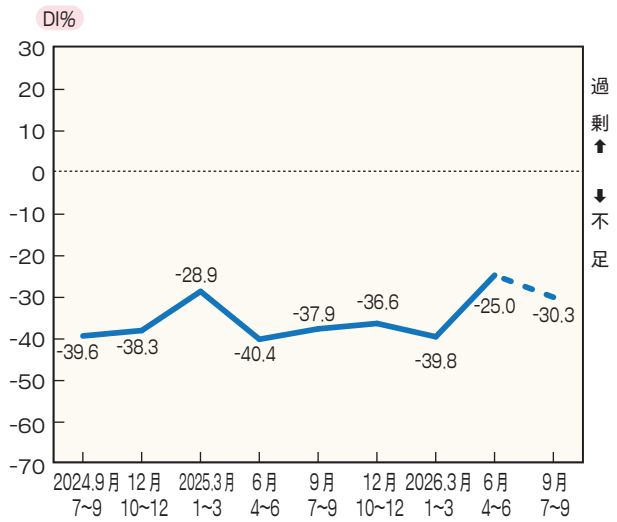
資金繰り

今期▲1.3（前期▲19.4）と
改善



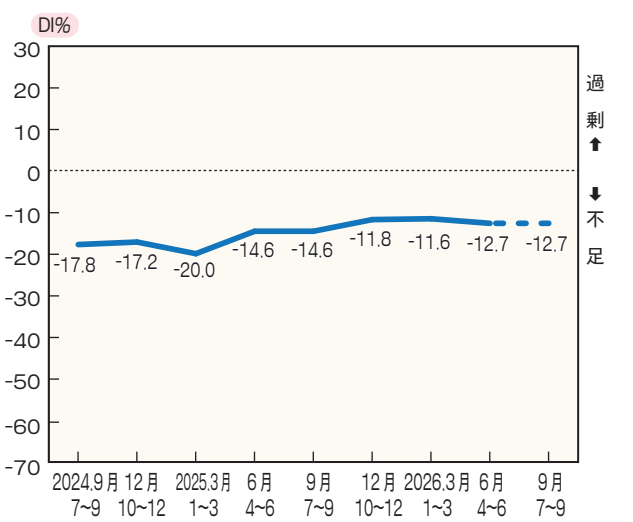
雇　用

今期▲25.0（前期▲39.8）と
改善



設備の状況

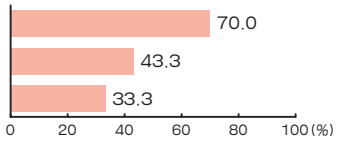
今期▲12.7（前期▲11.6）と
▲10.0以下を維持



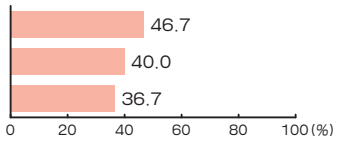
製造業

業況・売上額・収益ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



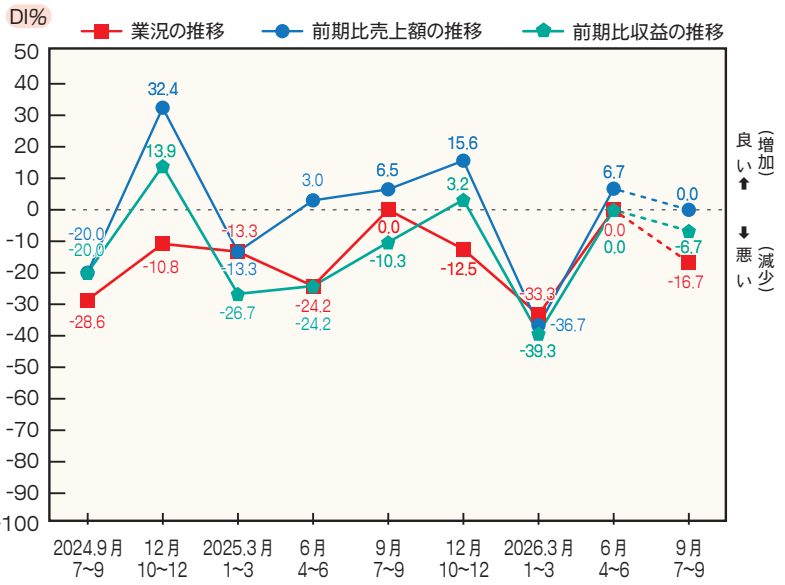
◆ 昨年同時期(2025年4~6月)に比べた動き

売上額	13.3
収　益	0.0

◆ 借入金の動き

借入の実施	23.3%
借入の予定	16.7%

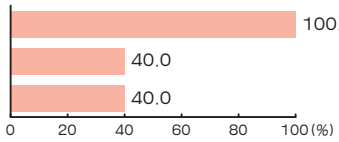
◆ 業況判断D.I・前期比売上額･収益の推移



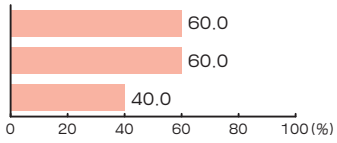
卸売業

業況・売上額・収益ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



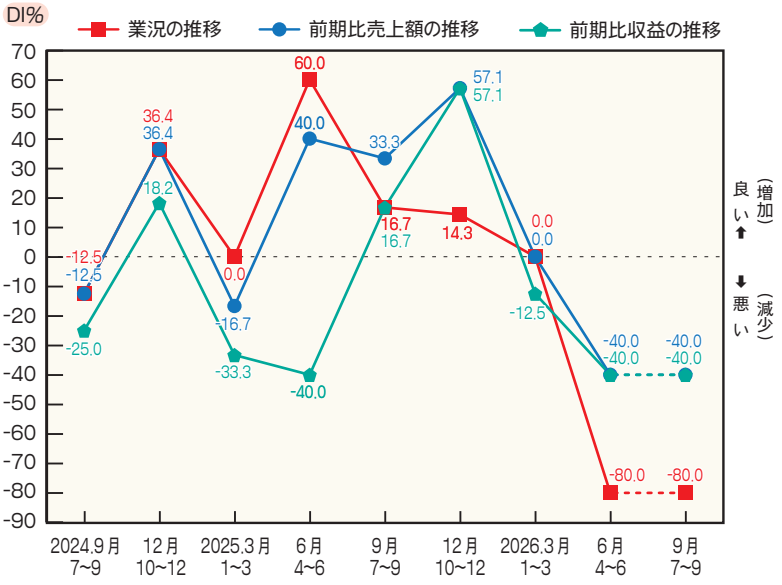
◆ 昨年同時期(2025年4~6月)に比べた動き

売上額	△80.0
収　益	△60.0
販売価格	60.0

◆ 借入金の動き

借入の実施	40.0%
借入の予定	20.0%

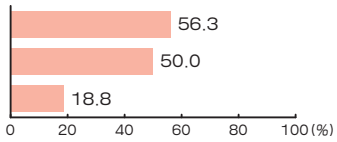
◆ 業況判断D.I・前期比売上額･収益の推移



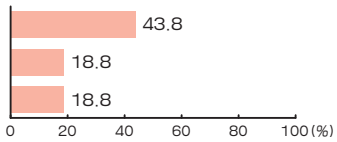
小売業

業況は悪化、売上額・収益ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



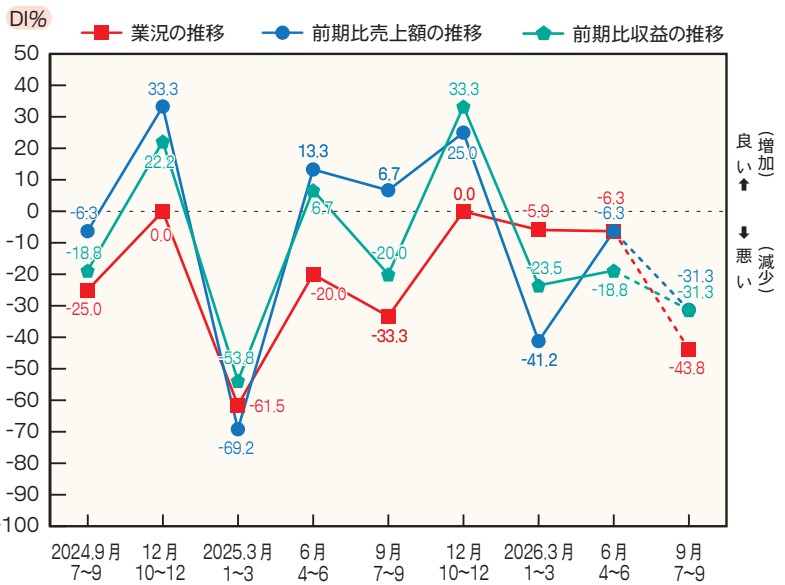
◆ 昨年同時期(2025年4~6月)に比べた動き

売上額	△12.5
収　益	△18.8
販売価格	56.3

◆ 借入金の動き

借入の実施	12.5%
借入の予定	6.3%

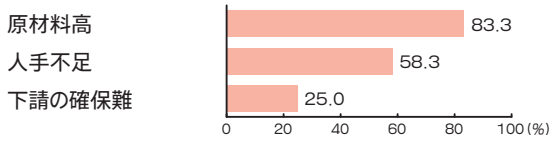
◆ 業況判断D.I・前期比売上額･収益の推移



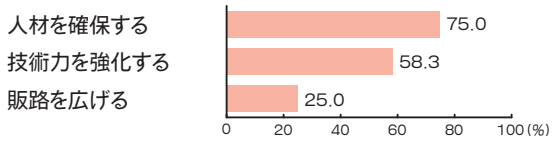
建設業

業況は悪化、売上額・収益ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



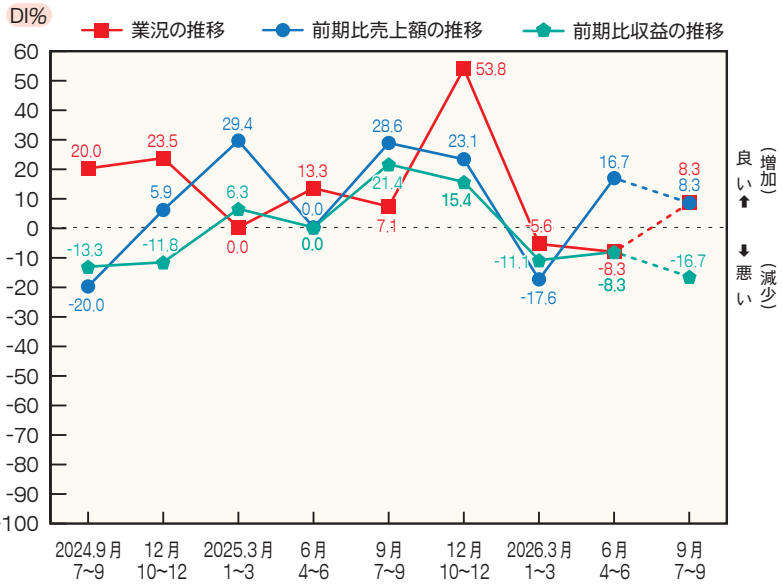
◆ 昨年同時期(2025年4~6月)に比べた動き

売上額	△16.7
収　益	△8.3

◆ 借入金の動き

借入の実施	25.0%
借入の予定	41.7%

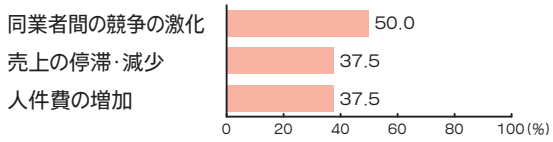
◆ 業況判断D.I・前期比売上額･収益の推移



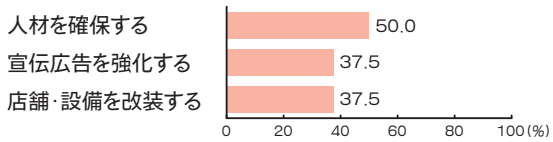
サービス業

業況・売上額・収益ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



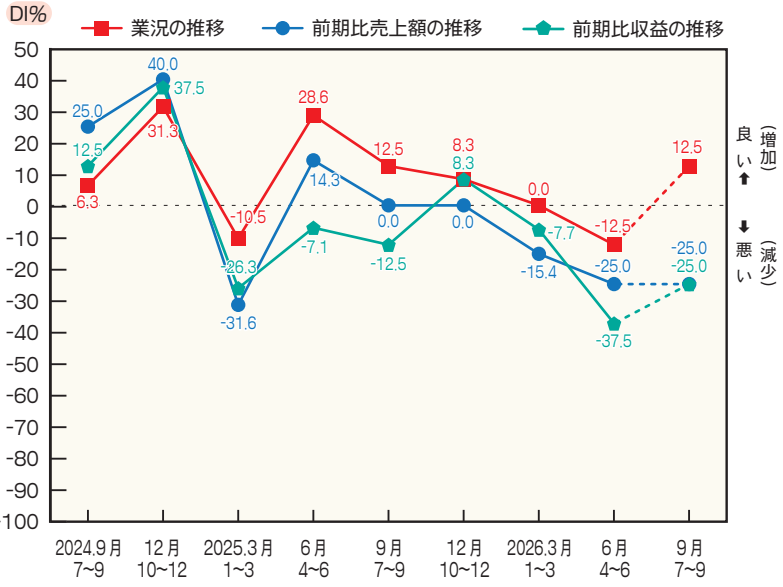
◆ 昨年同時期(2025年4~6月)に比べた動き

売上額	△37.5
収　益	△25.0

◆ 借入金の動き

借入の実施	12.5%
借入の予定	12.5%

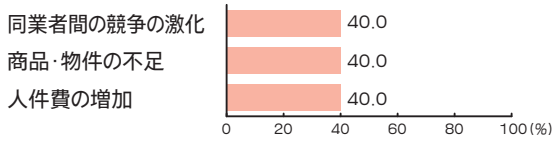
◆ 業況判断D.I・前期比売上額･収益の推移



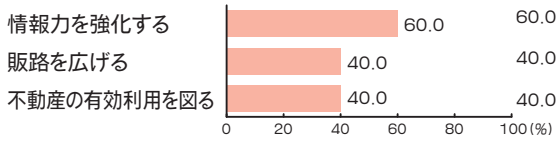
不動産業

業況・売上額・収益ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



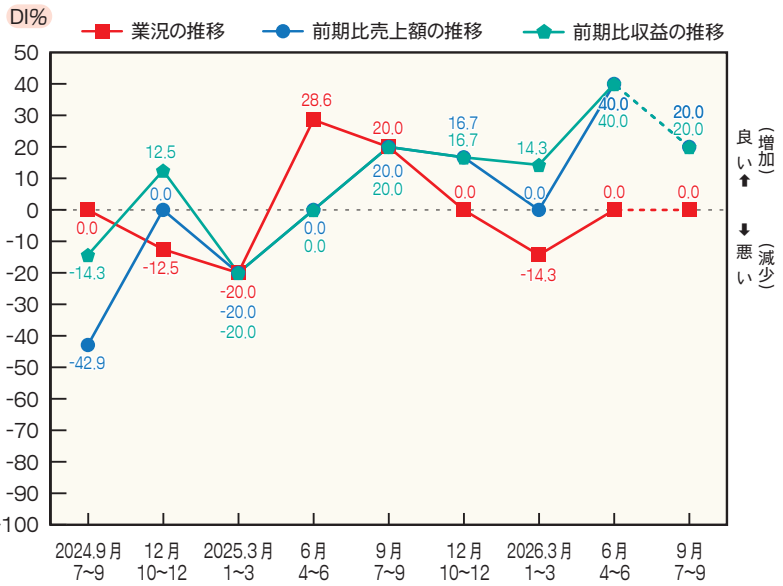
◆ 昨年同時期(2025年4~6月)に比べた動き

売上額	20.0
収　益	20.0

◆ 借入金の動き

借入の実施	40.0%
借入の予定	40.0%

◆ 業況判断D.I・前期比売上額･収益の推移

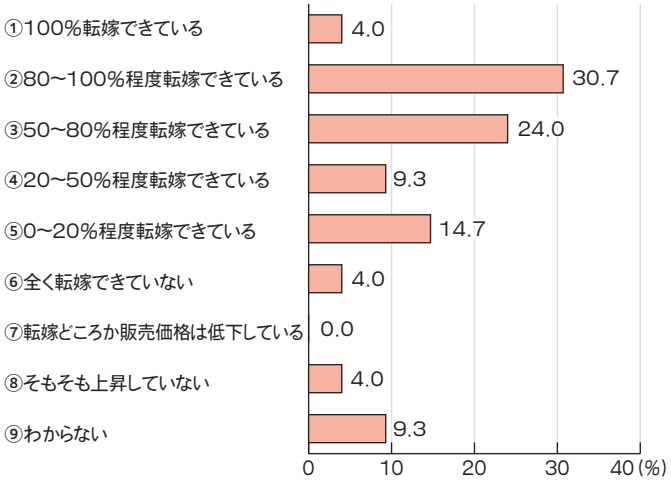


特別調査　中小企業における価格転嫁について

76社に調査し回答をいただいたものです。

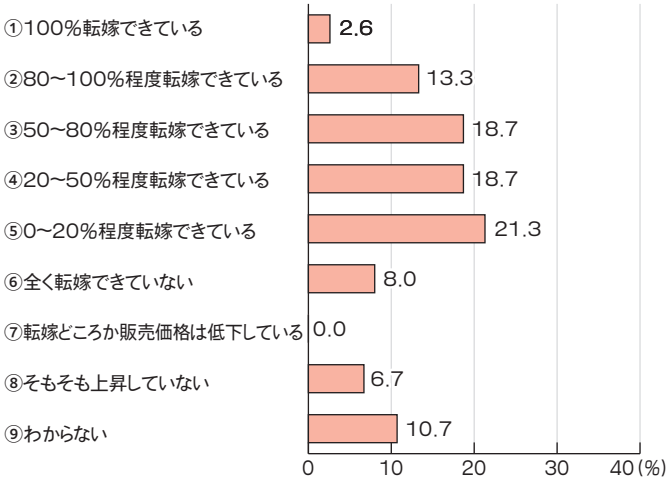
1

近年、取引条件の適正化を促進する政策的な動きが活発化しています。貴社では、ここ数年（2020年ごろから）の原材料・仕入価格の上昇分を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。下記の①～⑨の中から1つ選んでお答えください。



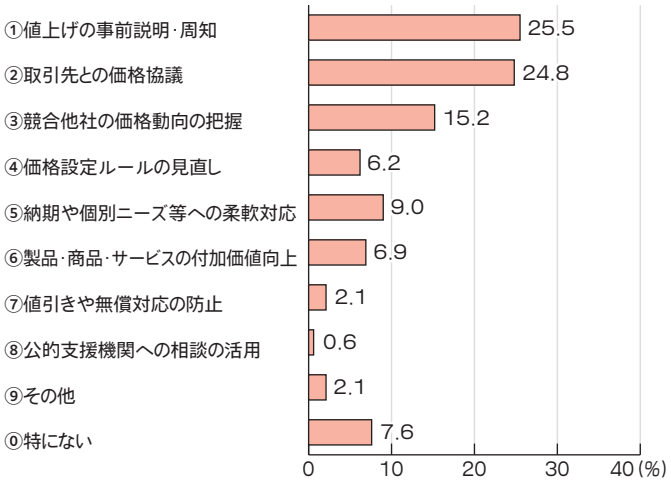
2

貴社では、ここ数年（2020年ごろから）の労務費・人件費の上昇分を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。下記の①～⑨の中から1つ選んでお答えください。



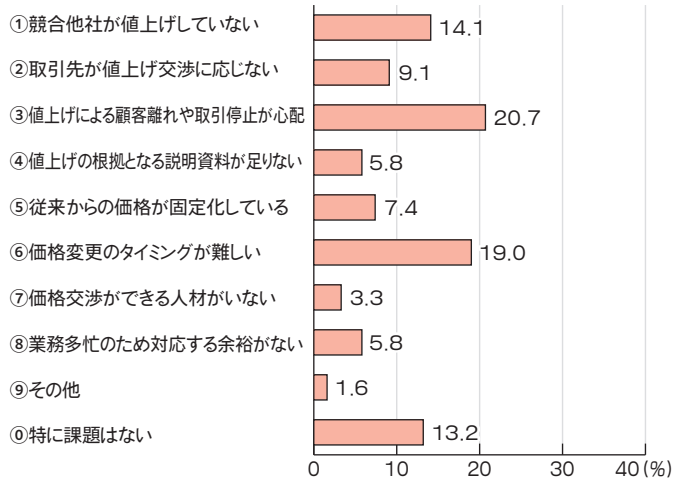
3

貴社が取引先（販売先）との円滑な価格交渉・価格転嫁を進めるために、重視している取組みは何ですか。以下の①～⑩の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。



4

貴社が価格転嫁を進めるうえでの課題は何ですか。以下の①～⑩の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。



5

今後、貴社が円滑な価格交渉・価格転嫁を進める上で、行政に重視してほしいと感じる取組みはありますか。以下の①～⑩の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。

